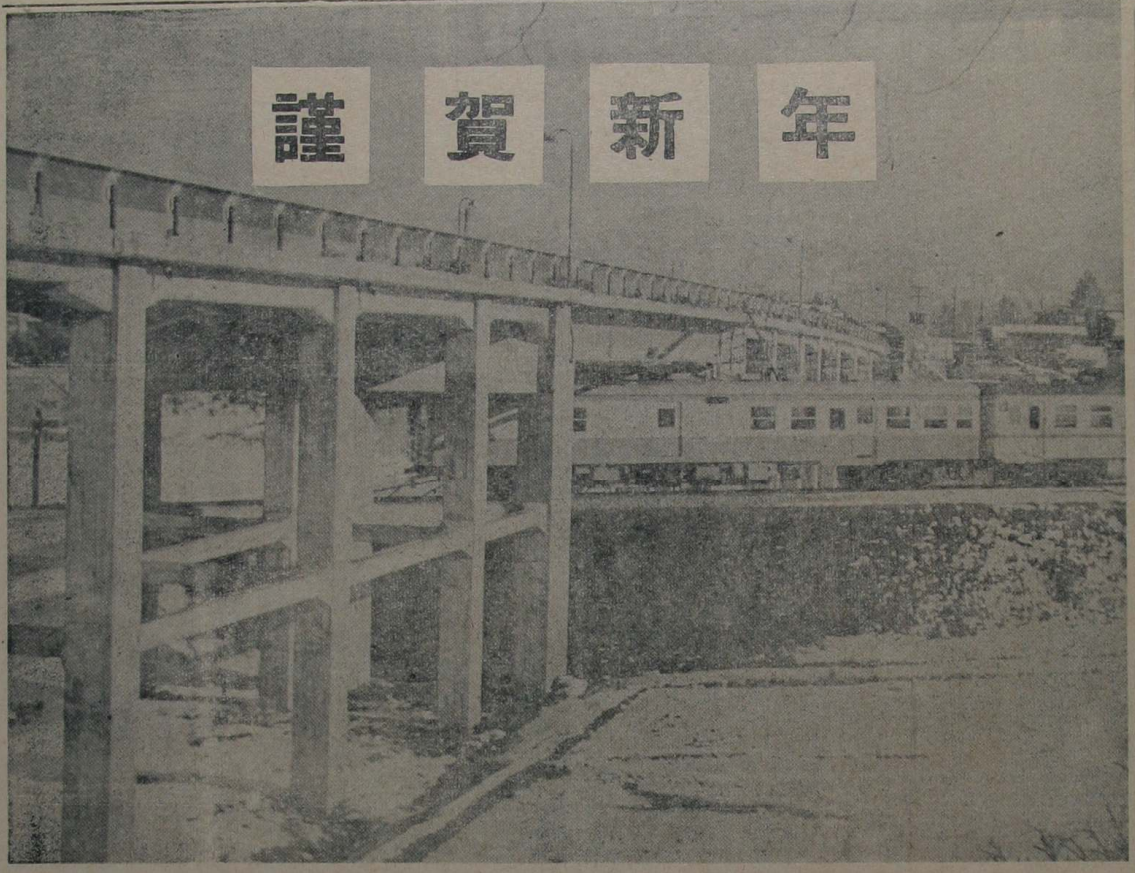
大館市政だより
第六十三号
(毎月一回発行)
大館市役所
発行所　秋田県大館市
編集兼発行人
竹内福哉

○栄える市政支える市税
○貧しくも心がけして
滞納なし



「大館新橋」　新しい大館

皆さんの協力が結晶

進む新大館の建設

市長　佐藤敬治

あけましておめでとうございます。新しい年は皆様に幸いの多い年でありますように心からお祈り申上げます。

昨年過ぎ去れる十月ではありますが、なんと申しましょうか"一年の計は元日にあり"のたとえ、なにかしら、すがすがしい、そして心のひきしまりを感じ得ません声を大にして、今年こそはの決意を新にするものであります。

×　×　×

三十四年は私にとって、苦しいながらも感慨深い一年でありました。

それは、皆様方の御推挙のお蔭をもちまして、三度市政を担当し、懸案の諸問題を解決して行くための大きなエネルギーを与えて頂いたからであります。

そして今、それらの問題や事業のでんまつを省りみるとき、市民各位の皆様方を始め、市議会、その他関係者の協力が生みだした大きな結晶をみることができます。市制の施行以前にはおそらく想像だにしなかった、大きな、そして数多い結晶をです。

大館市百年の大計にたった幾多の問題、これはやはり並大低なものではありませんでした。

とりわけ都市計画と直結する不燃化都市の造成はその代表的なものとえましょう。

強い雌波を極めた仲町、馬喰町、大町線等の区画整理も関係者の理解と協力を得まして秋にがわが大館は大火など厳次に見舞われてのどができましたので、大災復興も最終的仕上げを終え、来年の国体には街路樹の緑が道

城南小学校の二期工事が完成し新年度から全学年を収容できるようになったこと、下川沿、上川沿の組立会民館を新築中であること、中山ー曲田線の将来十二所、桂井沢方面開発の幹線道路の一部を始め、同線の中山橋を永久橋として完成したことなど、財政的にはかなりの困難があるのではありますが、関係方面をはじめ、市民の皆様の積極的な援助と協力によってこれら大館の新市建設が急ピッチを乗入れたことと、二井田大橋が完成三月二十一日に落成式を行ったこと。県営道路ではあるが新田橋及び宗福寺橋の立体交差大館道路が完成したこと、勝致を収った日本ビード工場が完成したこと、同じく同じくために、施政の全般を尽して努力事が進められていること。隣組に年に伴する皆様の御支援を初にお願い申上げ年間の御あいさつにかえます。

健全強力な市政を

議長　渡部綱次

新年おめでとうございます。本年も旧来と倍しまして御指導御鞭撻下さるようお願い申上げます。

昨年は、市民の皆様の御協力を得て、新しい三度大館市政に参画することを頂戴いたしました。

これは一重に皆さんの努力と勇気と英断の賜でありまして、茲に新しく生れ変った大館の隆の力となった種災された方々を始め、関係者の皆様に深く敬意を表する次第であります。

一方、合併に伴う新市の課題も欲目ではありませんが、みるべきものがありますが、ことに皆さんと共に考えてみたいことは、新しい大館にふさわしい健全なそして強力な行財政運営を確保することであると存じます。どちらかといえば過去数年来の大館は一低に固定では伸しきれない負担を背負はされて来た感があるのでありますが、この大災復興や新市建設の一段落とともにこの点に重点をおきまして、市議会も打って一丸となって強力に推進することこそ災復であろうと存じます。大館市将来の繁栄のために。

新しい年に臨むに当っての年頭の理解と協力を得まして秋にがわが大館は大火など厳次に見舞われてのどができましたので、大災復興も最終的仕上げを終え、来年の国体には街路樹の緑が道

大館市議会
議長　渡部綱次
副議長　小坂元治
議員
石川芳男　竹内福哉　成田松蔵　菅原勇治　越山米太郎　菅原一雄　武茂信雄　嶋崎泰光　田中昌俊　高松善治郎　佐藤省一　奈良勉　菊地忠吉　野口弘　石田徳太郎　石田豊治　釜谷義雄　奈良友二　三浦要太郎　築館米三郎　伊藤市五郎　斎藤芳二　石戸谷錦吉　小畑勇吉　藤島米太郎　村井信一郎　太田部武蔵　浪岡善之助　佐々木正治　柳館邦男　桜庭重蔵　八神錦三　桜庭末吉　佐藤民二郎
監査委員
鎌田勝郎

大館市役所
市長　佐藤敬治
助役　小坂直司
収入役　石田純二郎
総務課長　竹内福哉
財政課長　田村正六
同補佐　浪岡文治
管財課長　武石圭一
同補佐　小林賢之助
屋生課長　竹内省三
農林課長　小笠原三郎
商工課長　富樫政市
建設課長　吉金亮三
同補佐　田中芳蔵
水道課長　唐沢重雄
同補佐　山口静馬
収入役室長　斉藤稔
出納室長　伊藤一雄
釈迦内
長木　田中祐二郎
上川沿　関寅次郎
下川沿　安部武雄
真中　佐藤稔
二井田　関知路
十二所　前田幸一
福祉事務所長　丸谷正巳
教育委員会教育長　伊藤廷雄
選挙管理委員会委員長　前田嘉太郎
その他職員一同